

■ 実習

## 実習「ルナ系第5惑星」

(価値観の明確化をめざした実習)

楠本和彦

(南山大学人文学部心理人間学科)

---

---

### ねらいの例

- ・大切に思っていることや嫌っていることに目を向けることを通して、自分や他者の価値観の一端に気づく。
- ・グループでの活動を通して、グループやコミュニケーションやそれぞれの人に起こっていること（個人の言動の特徴や気持ちなど）に目を向け、気づく。

(学習者のニーズや状況に応じて、ねらいを設定する)

### グループサイズ

1グループ 3名～5名。グループ数はいくつでも可。

### 所要時間

105～120分（各グループの参加者数によって、所要時間は変動する）

### 準備物

1. 指示書（資料1） 各自に1枚
2. 課題シート（資料2または資料5） 各自に1枚
3. 個人記入用紙（資料3または資料6） 各自に1枚
4. ふりかえり用紙（資料4） 各自に1枚

## 会場の設定

移動可能な机と椅子を使用することが望ましい。個人記入後、グループのメンバーが机をはさんでお互いに向き合えるように設定する。

## 手順

1. 導入 ねらいと手順の説明 指示書(資料1)を配布し、ねらいと実習の手順を説明する。
2. グループング 何らかの方法でグループ分けを行う。個人記入後、机と椅子のセッティングをする。
3. 課題の導入 課題シート(資料2または資料5)と個人記入用紙(資料3または資料6)を配布し、課題の内容を説明する。  
＜手順1～3まで、約15分＞
4. 個人記入 課題シートの物語を読みつつ、個人記入用紙(資料3または資料6)に記入する。＜20分＞
5. 個人記入用紙のわかちあい 各自がそれぞれの天使に何を望むか、その理由は何かを伝え合う。それを聴いた感想を述べ合う。＜20～30分＞
6. ふりかえり用紙記入 ふりかえり用紙(資料4)を記入する。＜15分＞
7. ふりかえり用紙のわかちあい ＜25分～30分＞
8. 全体でのわかちあい ＜10分＞

## ファシリテーションのポイント

実習「ルナ系第5惑星」は、個人の価値観の明確化をねらいとする実習であるため、自分の価値観の一端を自己開示できる関係性が構築された後に、実施することが肝要である。例えば、本実習前に他の実習を行った同じメンバーで実施するとよい。

日常的に仕事等を共にするメンバーであれば、簡単なウォーミングアップ後に、本実習を実施することも可能であろう。例えば、フォースト・チェイスなどの実習を行い、異なる選択を行った参加者を集めて、グループングすれば、多様な価値観をもったメンバー構成となるかもしれない。

また、導入時に、ねらいを丁寧に伝え、本実習を実施することの意味や、本実習によって、学ぶことができる内容を参加者が十分に理解していることが重要になる。

個人記入用紙にはできるだけ率直に自分の考えや思いを記すことをファシリテーターは参加者に勧める。しかし、個人記入用紙のわかちあいにおいては、可能な限り率直に語るとよいが、話したくないことは話さない、話せる範囲内で話すというような吟味を行いつつ、語り合うことで侵襲性は軽減できる。このよ

うなお互いの配慮の必要性を、ファシリテーターは参加者にインストラクションしておくことが重要である。

バージョン1の課題シートの物語は、バージョン2に比べて、キリスト教的な言葉づかいが少ない。キリスト教的な言葉づかいや価値に、メンバーが抵抗を覚えると想定される場合には、バージョン1を使用する方が適切である。参加者の多くがキリスト教的な言葉づかいや価値に抵抗を覚えない場合には、バージョン2を使用することができよう。

「考える上での参考アイディア」を本稿では、資料2のみに記載しているが、必要であれば、資料5に記載することもできる。また、「考える上での参考アイディア」に記す項目は、対象者の年齢や考えの志向性などを考慮し、ファシリテーターが適宜、取捨選択、追加すべきである。項目に多様性がある方が、参加者の多様な価値観に対応できる。しかし、あまりにも項目数が多すぎると、参加者は混乱するかもしれない。内容や数のバランスを考えて、項目を選択する必要があるだろう。

## 資料 1

### 実習「ルナ系第5惑星」 指示書

ねらい：

- ・大切に思っていることや嫌っていることに目を向けることを通して、自分や他者の価値観の一端に気づく。
- ・グループでの活動を通して、グループやコミュニケーションやそれぞれの人に起こっていること（個人の言動の特徴や気持ちなど）に目を向け、気づく。

手順：

1. 導入
2. 実習の実施（個人記入、個人記入用紙のわかちあい）
3. ふりかえり用紙記入
4. ふりかえり用紙のわかちあい
5. 全体でのわかちあい

## 資料2 (バージョン1) 実習「ルナ系第5惑星」課題シート

ある日の夜、明彦さんは、奇妙な夢を見ました。起きた後も、夢とは思えないほどの、リアルな感じが身体に残っていました。その夢はこのようなものでした。

これは、太陽系から 3,000 光年離れた、ある惑星での出来事です。太陽系第3惑星地球の西暦に換算すると、紀元後 2,030 年頃に起こった出来事です。

太陽系から 3,000 光年離れた、ルナ系第5惑星では、巨人族という種と異能族という種との戦争が何百年にもわたり続き、大地は荒廃し、人々は疲弊していました。それぞれの人種の中には、好戦的なグループも存在していましたが、そうでない人々も存在していました。例えば、少数派ではあるものの、和解を望み、なんとか両人種を仲裁できないかと考える人々もいました。自分や自分の家族の身を守ることで精一杯という人々や、長く続く戦いを終わらせることは無理だと無力感をいだく人々や、いつ終わるかわからない人生なのだからと、享樂的な生活をおくる人々もいました。戦いを終わらせてほしいと、真摯に神に祈る人々もいました。

ルナ系第5惑星の様子を憂いた神は、御使いを遣わし、ご自分の御言葉を届けました。

1人目の神の御使いは、言いました。「双方とも戦をおさめよ。これは、神の御言葉である」。巨人族と異能族は共に空を仰ぎました。1人目の御使いは、続けて言いました。「神の御言葉に従って、戦いをおさめるのであれば、なんじがこの世で増やしたいものを増し加えることができる」。

2人目の神の御使いは言いました。「神の御言葉に従って、戦いをおさめるのであれば、なんじがこの世から滅したいと思っているものを、滅することができる」。

3人目の神の御使いは言いました。「神の御言葉に従って、戦いをおさめるのであれば、なんじは、この世にまだ存在しないものを存在させることができる」。

4人目の神の御使いは言いました。「神の御言葉に従って、戦いをおさめるのであれば、なんじは、この世にまだ存在しないものが決して存在しないようにすることができる」。

その後、ルナ系第5惑星の戦争は終結し、この惑星の住民や関与していた人々の願いがかなえられることになりました。あなたも、ルナ系第5惑星に何らかの形で関与していました。あなたは、それぞれの神の御使いに対して1つずつ願いを伝えることができます。願いは神のみこころに反しない限り、かなえられます。

- 1) あなたは、1人目の神の御使いに何を望みますか？
- 2) あなたは、2人目の神の御使いに何を望みますか？
- 3) あなたは、3人目の神の御使いに何を望みますか？
- 4) あなたは、4人目の神の御使いに何を望みますか？

注：紀元後 2,030 年頃の地球に存在するものは、同時期のルナ系第5惑星にも同じように存在していると想定してください。

\*\*\*\*\* 考える上での参考アイディア \*\*\*\*\*

希望,自由,平等,信頼,愛,美,信仰,時間,恒久平和,正義,悪,罪,健康,天災,暗闇,光,宇宙,不死,1兆エルク(1エルクは日本円,1円に相当),自分が王である小さな惑星,ロケット,タイムマシン,絶対裏切らないペット,ヒーロー・ヒロインになる権利,3度夢をかなえてくれる杖,相手の心の声が聞こえるイヤホン,空を飛べる翼,いつでも繋がる神との電話回線,不幸を避けられるマント,4度人を操ることができる呪符,すべての動物と仲良くなれる食べ物(1年分(地球時間に換算)),自分が神になれる権利(効力2分(地球時間に換算),1度のみ発動可),悪魔を退治してくれる執事(時給50,000エルク)等

資料3 (バージョン1)

実習「ルナ系第5惑星」個人記入用紙

1) あなたは、ルナ系第5惑星に何らかの形で関与していました。どのような思いをもった者、どのような立場の者として、あなたは願いを伝えますか？

2) あなたは、1人目の神の御使いに何を望みますか？それを望む理由はどんなことですか？

望み：

理由：

3) あなたは、2人目の神の御使いに何を望みますか？それを望む理由はどんなことですか？

望み：

理由：

4) あなたは、3人目の神の御使いに何を望みますか？それを望む理由はどんなことですか？

望み：

理由：

5) あなたは、4人目の神の御使いに何を望みますか？それを望む理由はどんなことですか？

望み：

理由：

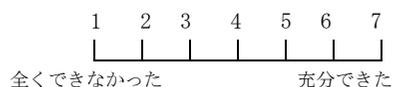
6) その他、思ったことを自由に…

**資料4**

実習「ルナ系第5惑星」ふりかえり用紙

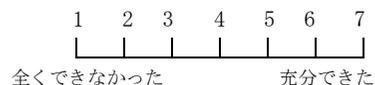
1. あなたはどれ程,自分の思いを述べることができましたか。

(どのような点で)



2. あなたはどれ程,他の人の思いを聴くことができましたか。

(どのような点で)



3. グループのコミュニケーションのありようやお互いの影響（誰が、どのような影響を与えたか）などについて感じたことは？

4. グループ活動中の言動を通して、自分や他のメンバーの特徴（価値観・考え方や言動の特徴や気持ちなど）について、感じたり、気づいたことを記してください。

\_\_\_\_\_  
自 分

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

5. その他自由に…

## 資料5 (バージョン2)

### 実習「ルナ系第5惑星」課題シート

ある日の夜、明彦さんは、奇妙な夢を見ました。起きた後も、夢とは思えないほどの、リアルな感じが身体に残っていました。

その夢はこのようなものでした。

これは、太陽系から 3,000 光年離れた、ある惑星での出来事です。太陽系第3惑星地球の西暦に換算すると、紀元後 2,030 年頃に起こった出来事です。

太陽系から 3,000 光年離れた、ルナ系第5惑星では、巨人族という種と異能族という種との戦争が何百年にもわたり続き、大地は荒廃し、人々は疲弊していました。それぞれの人種の中には、好戦的なグループも存在していましたが、そうでない人々も存在していました。例えば、少数派ではあるものの、和解を望み、なんとか両人種を仲裁できないかと考える人々もいました。自分や自分の家族の身を守ることで精一杯という人々や、長く続く戦いを終わらせることは無理だと無力感をいだく人々や、いつ終わるかわからない人生なのだからと、享樂的な生活をおくる人々もいました。戦いを終わらせてほしいと、真摯に神に祈る人々もいました。

ルナ系第5惑星の様子を憂いた天の父は、大天使を遣わし、ご自分の御言葉を届けました。

天の父の、御使いである大天使ガブリエルは、言いました。「双方とも戦をおさめよ。これは、天の父なる神の御言葉である」。巨人族と異能族は共に空を仰ぎました。大天使ガブリエルは、続けて言いました。「天の父なる神の御言葉に従って、戦をおさめるのであれば、なんじがこの世で増やしたいものを増し加えることができる」。

大天使ミカエルは言いました。「天の父なる神の御言葉に従って、戦をおさめるのであれば、なんじがこの世から滅したいと思っているものを、滅することができる」。

大天使ラファエルは言いました。「天の父なる神の御言葉に従って、戦をおさめるのであれば、なんじは、この世にまだ存在しないものを存在させることができる」。

大天使ウリエルは言いました。「天の父なる神の御言葉に従って、戦をおさめるのであれば、なんじは、この世にまだ存在しないものが決して存在しないようにすることができる」。

その後、ルナ系第5惑星の戦争は終結し、この惑星の住民や関与していた人々の願いがかなえられることになりました。あなたも、ルナ系第5惑星に何らかの形で関与していました。あなたは、それぞれの大天使に対して1つずつ願いを伝えることができます。願いは神のみこころに反しない限り、かなえられます。

- 1) あなたは、大天使ガブリエルに何を望みますか？
- 2) あなたは、大天使ミカエルに何を望みますか？
- 3) あなたは、大天使ラファエルに何を望みますか？
- 4) あなたは、大天使ウリエルに何を望みますか？

注：紀元後 2,030 年頃の地球に存在するものは、同時期のルナ系第5惑星にも同じように存在していると想定してください。

資料 6 (バージョン 2) 実習「ルナ系第 5 惑星」個人記入用紙

1)あなたは、ルナ系第 5 惑星に何らかの形で関与していました。どのような思いをもった者、どのような立場の者として、あなたは願いを伝えますか？

2)あなたは、大天使ガブリエルに何を望みますか？それを望む理由はどんなことですか？

望み：

理由：

3)あなたは、大天使ミカエルに何を望みますか？それを望む理由はどんなことですか？

望み：

理由：

4)あなたは、大天使ラファエルに何を望みますか？それを望む理由はどんなことですか？

望み：

理由：

5)あなたは、大天使ウリエルに何を望みますか？それを望む理由はどんなことですか？

望み：

理由：

6)その他、思ったことを自由に…

# 実習使用規定

ラボラトリー方式の体験学習に関するツールを公開することで、ラボラトリー方式の体験学習が広く普及することを願って、第7号(2008)より「実習」を掲載しております。ここに掲載されている実習は、当センター研究員とその仲間によって開発され、これまでの教育実践で用いられてきたものです。使用の際には以下の留意事項をお守りください。

なお、ラボラトリー方式の体験学習を実施する際には、まずはご自身がラボラトリー方式の体験学習を体験されることをお勧めします。当センターではラボラトリー方式の体験学習を用いた公開講座を開催しております（詳しくは当センターの Web ページ <http://www.nanzan-u.ac.jp/NINKAN/> をご参照ください）。体験学習のファシリテーションを学んだ上でご使用ください。

## 実習を使用する際の留意事項

1. 著作権は著者に属します。実習を販売することや、営利目的の発行物などに転載することは禁止します。なお、教育目的での無料の発行物などに転載を希望される場合は、当センター事務局にお問い合わせください。
2. ラボラトリー方式の体験学習として教育・研修などに使用される場合には、各実習の課題シート（実習の指示書）に出典を明記してください。使用の際に当センターや著者に許可を得る必要はありません。また、使用料も発生しません。

### 【出典の記入例】

出典：大塚弥生（2008）「グループ エントランス」

南山大学人間関係研究センター 人間関係研究, 第 7 号より

3. 課題シート（実習の指示書）をそのまま使用するのではなく、プログラムの実施状況に合わせて適宜修正・変更した上で使用する場合は、「参考」として出典を明記してください。
4. ラボラトリー方式の体験学習で大切にされている教育観（学習者中心の教育、非操作の教育、学習者が自らの人間的成長に取り組む教育）に反する使用は禁止します。たとえば、営利目的で学習者を操作する自己啓発セミナーなどでの使用は一切禁じます。